

## 諏訪原城史跡整備工事が行われています。

11月1日諏訪原城史跡内、休憩所・展示室が上棟しました。



屋根・内装の工事も着々と進み、来年2月完成を目指しています。

## 島田市伊久美地区・吊橋改修工事を始めます。



吊橋からの景色。紅葉が綺麗です。

島田市伊久美の長島地区の吊橋改修工事を始めます。  
欠損した箇所地覆や敷板を交換します。



家を建てる方にも そうでない方にも 聞いてほしい話

# ホームー教室 随時受付中



ホームー教室では、ビデオ・CD クイズなどを取り入れながら、住まいの環境についてわかりやすく勉強してまいります。ぜひ、お気軽にお越しください。

要予約 TEL(0547)45-3501

ホームー教室のお問い合わせ・お申込みは下記までお願いします。

※公式 LINE またはメールでもOKです。(kk-nagai@po2.across.or.jp)

（株）ナガイ 島田市牛尾510-2 TEL (0547) 45-3501

# 木くぼり



No. 173

発行 '18-12月号

## 今月の巻 木の性質

株式会社 ナガイ内

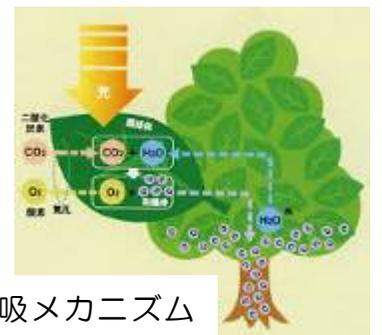
住まい教室 金谷教室

木材が「CO<sub>2</sub>の缶詰」といわれるのはなぜでしょう。

樹木は光合成でできた糖類を変換し、細胞を増やしながらか、樹体内に炭素（C）をストックしているのです。

樹木は、幹が太くなっていく肥大成長と枝や根の先端が伸びていく伸長成長を繰り返しながら、細胞を増やして樹体を年々大きくしていきます。このとき細胞を増やすために、大気から吸収した二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）と土壌から吸収した水（H<sub>2</sub>O）を用いて光合成を行い、酸素（O<sub>2</sub>）を放出しながら、糖類（ブドウ糖）をつくり出します。そして、さらに樹体内で木材の主成分であるセルロース（50%）、ヘミセルロース（30%）、リグニン（20%）に変化し（「生合成」という）、それらが複合され強固な細胞壁を構築します。細胞壁の木材実質は、化学成分でみると炭素（50%）、酸素（44%）、水素（6%）になります。

このように、樹木は光合成でつくられた糖類を変換し、細胞を増やしながらか、樹体内に炭素をたくさんストックしていくのです。つまり、木材は「炭素の缶詰」であり、元をたどれば「二酸化炭素の缶詰」といえるのです。



樹木の呼吸メカニズム

～木材・木造住宅のQ&Aより～